



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	32,627.97	-234.33	-0.71	-0.46	6.60	30,606.48
NASDAQ	13,215.24	99.07	0.76	-0.79	2.54	12,888.28
日経225	29,792.05	-424.70	-1.41	0.25	8.56	27,444.17
上海総合	3,404.66	-58.40	-1.69	-1.40	-1.97	3,473.07
滬深300(CSI300)	5,007.09	-134.68	-2.62	-2.71	-3.92	5,211.29
ハンセン	28,990.94	-414.78	-1.41	0.87	6.46	27,231.13
中国企業	11,283.92	-186.51	-1.63	0.99	5.08	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.9%高と反発、上海総合指数は1.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.9%高と反発した。米長期金利の上昇が一服したことを受けて16日には節目の29000ポイント台を回復。17日まで開かれたFOMCで23年末までゼロ金利政策を継続するとの予想を示したことも相場を支えて18日まで4日続伸したが、19日に米長期金利の上昇や米中外交トップ会談での非難の応酬を受けて市場心理が悪化し、再び節目の29000ポイントを割り込んだ。本土市場では上海総合指数が週間で1.4%安と4週続落。米中関係の悪化に対する警戒感が相場の重しとなった。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、引き続き米長期金利の動向が焦点

香港市場は一進一退の展開か。先週末には米長期金利が1.7%台まで上昇しており、さらに上昇が続くようであれば相場の重しとなる算が大きい。米中関係については先週の米中外交トップ会談が非難の応酬となったことで今後の制裁強化が予想され、ハイテク関連銘柄は制裁リスクが意識されやすい。今週は決算発表が集中することから個別銘柄の業績発表にも注目が集まる。本土市場は底堅い展開か。足元の下落を受けて短期的なりバウンドは入りやすいが、米中関係を巡る先行きへの不安が相場の重しとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 小米集団(01810)	26.25	15.38
2 長江実業地産(01113)	50.45	8.85
3 パドワイザーAPAC(01876)	24.60	6.26
4 サズ・チャイ(01928)	39.50	6.18
5 申洲国際集団(02313)	170.30	4.93
6 中国海外発展(00688)	20.60	4.89
7 華潤置地(01109)	37.60	4.74
8 舜宇光学科技(02382)	191.40	4.42
9 中国蒙牛乳業(02319)	44.35	4.35
10 アリババ集団(09988)	234.60	3.81

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 GNOOC(00883)	8.36	-6.90
2 龍湖集団(00960)	45.85	-6.71
3 ペトロチャイ(00857)	2.85	-6.25
4 シバック(00386)	4.08	-5.34
5 香港鉄路(00066)	44.90	-3.75
6 テンセント(00700)	628.00	-3.46
7 恒安国際集団(01044)	53.90	-3.06
8 海底撈国際(06862)	55.80	-3.04
9 Link REIT(00823)	69.95	-2.64
10 万洲国際(00288)	7.04	-2.63

▼今週の主なイベント

- 3月24日(水) 【香港】テンセントの決算発表
- 3月25日(木) 【米国】GDP確定値(10-12月)
- 【香港】貿易統計(2月)
- 3月27日(土) 【中国】工業企業利益(2月)

▼今週の期待材料

- ◆企業の決算発表が集中、市場予想を上回る決算発表が続けば相場全体のセンチメント改善に
- ◆百度に続きビリビリも香港市場に上場へ、今後も主力ADR銘柄の香港への重複上場が続く算
- ◆FRBが17日のFOMCで少なくとも23年末までゼロ金利政策を維持する方針を表明、景気回復期待強まる

▼今週の懸念材料

- ◆米長期金利上昇に引き続き警戒感が強まる算、先週は米10年債利回りが1.7%台まで上昇
- ◆米中外交トップ会談は新冷戦を象徴するような非難の応酬、米中関係改善への期待が大きく後退
- ◆欧州や新興国の一部で新型コロナ新規感染が再び増加、ブラジルは新規感染者数が過去最多を更新

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 24日に20年12月本決算を発表、市場予想は33%増益
- ☆ 国業控股 (01099) : 20年12月本決算は15%増益、市場予想上回る
- ☆ 小米集団 (01810) : 24日に20年12月本決算を発表、市場予想は33%増益
- ☆ 美团 (03690) : 26日に20年12月本決算を発表、市場予想は純利益2.4倍
- ☆ 中国鉄路通信信号 (03969) : 天津地下鉄11号線の信号システムを2.2億円で受注
- ☆ 百度 (09888) : 23日に香港メインボードに上場、公募倍率は112倍
- ◇ 招商銀行 (03968) : 台州銀行の株式10%を追加取得、持ち株比率は約25%に拡大へ
- ★ 吉利汽車 (00175) : 23日に20年12月本決算を発表、市場予想は12%減益
- ★ 中国工商銀行 (01398) : 26日に20年12月本決算を発表、市場予想は6%減益
- ★ 瑞声科技 (02018) : 25日に20年12月本決算を発表、市場予想は33%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。